

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議などの詳細
- 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ 改訂4版2018」のご案内
- 「農薬について知ろう」ウェブサイトのご案内
- 講師派遣のご案内
- 日本農薬学会第48回大会のご案内
- 農薬科学研究奨励金制度のご案内
- 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

**令和4年度 第2回常任評議員会議事録**

日 時：令和4年7月16日(土) 13:00～15:30

方 法：Web開催

出席者：出席者14名（第48回大会組織委員長1名を含む）、  
欠席者2名

議 事：

I. 令和4年度第1回常任評議員会議事録を確認した。

II. 経過報告および議案

1. 第48回大会について

- ・大会組織委員長から、対面での開催を目指して準備を進めているとの説明があった。
- ・大会運営の業務委託、および今後の予定などについて説明された。

2. 財務関係

- ・会計報告
- 収支予算管理報告（令和4年1月1日から6月30日まで）について、順調に進捗しているとの報告があった。

3. 編集委員会

- ・学会誌JPSへの投稿、およびアクセス状況について説明があった。
- ・2021年のIFが2.529になったことが報告された。

- ・論文賞の一次選考の状況について説明があった。
4. 学術・技術支援委員会
- ・「農薬について知ろう」ウェブサイトのリンク先確認作業の進捗について説明された。
  - ・今年度の残留農薬分析セミナーをオンライン開催で企画しているとの報告があった。
  - ・講師派遣の取組、および派遣依頼1件について説明された。
  - ・「残留分析知っておきたい問答あれこれ」の改訂について検討を進めていると報告された。
5. 将来計画委員会
- ・学会改革に向けた答申書を作成し、会長に報告したとの報告があった。答申書は常任評議員の中で共有されることになった。
6. 学会賞受賞者選考委員会
- 候補者の推薦状況について説明された。
7. 農薬科学研究奨励金について
- ・令和5年度助成の募集スケジュールが説明された。
  - ・研究成果を報告する論文の謝辞の文面について説明があり、そこに記載するためのグラント番号を各研究課題に振ることが提案された。
8. 選挙管理委員会
- ・令和4年6月29日に開催された第1回選挙管理委員会について報告された。
  - ・役員選挙に関する会則および選挙日程を確認した。
9. 技術士育成推進委員会
- ・次回大会で技術士セミナーを開催予定との説明があった。
10. 昆虫科学連合、植物保護科学連合
- ・日本植物保護科学連合の今年度の公開シンポジウムは、12月3日に「持続的な食料保障に向けた植物保護の新技術」のテーマで開催されるとの報告があった。
11. 公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会
- ・日本農学進歩賞の候補が決定され、推薦の手続きを進めている。日本農学賞受賞候補者の推薦受付が現在行われているとの説明があった。

12. 国際学会の渡航費補助について
  - ・新たな申請はなかったとの報告があった。
13. 入退会の報告
  - ・2022年4月～6月の期間における入退会の報告があり、正会員4名および海外会員2名の入会が承認された。
14. その他
  - ・2023年にインドで開催予定の15th IUPAC International Congress of Crop Protection Chemistry (ICCPC)の準備状況について説明があった。
  - ・研究会の協賛について報告された。
  - ・退職後の正会員や、大学卒業後の学生会員の会費について議論した。
  - ・学会賞受賞者推薦の資格拡大について議論した。
  - ・農薬の再評価制度に関して、レギュラトリーサイエンス研究会にてシンポジウム開催を検討していると説明があった。
  - ・学会員の興味を持つテーマを募集するアンケート実施を検討していると説明された。
  - ・入会案内の更新について説明があった。
  - ・会計上の手続きに関して、講師謝礼、および会議費の取扱いについて説明された。

#### 第214回常任編集委員会議事録

日 時：令和4年7月30日(土) 15:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会地下1階会議室

出席者：12名

欠席者：1名

#### 報告事項：

- 1) JPSへの投稿、アクセス状況、IFの推移(2019～2022)について  
今年度もこれまでと同ペースで投稿が続いており、4月から投稿料を値上げしたが投稿数に影響はない模様。PDFダウンロード数も順調に推移している。  
また、2021年度のIFは2.529と、前年から1.0ポイント以上上昇した。
- 2) 学会誌(和文誌47-2, JPS47-3)の編集状況について  
和文誌47-2及びJPS47-3の発行に向けての作業が進んでいるところである。  
JPSはReviewを一本入れることができた。

#### 議題：

- 1) 令和5年度日本農薬学会論文賞の受賞候補の選考及び推薦要領の改訂について  
事前に編集委員より推薦を受けた論文(9編)の中から、論文賞候補論文及び次点候補論文を投票により決定した。  
候補論文選出の後、推薦要領および選考方法について議

論を行った。

- 2) JPS47-4および48-1に掲載するReview論文について  
次号(JPS47-4)およびJPS48-1(2023年2月20日発行予定)に掲載予定のReview論文について、依頼および執筆状況の説明があった。
- 3) 将来計画委員会答申における学術雑誌改革の方向性について  
先に開催された常任評議委員会での将来計画委員会答申について高木委員長から説明があり、特に学会員の減少が大きな問題であることが指摘された。その状況および対策について議論を行った。
  - ・都道府県職員および企業の会員にも論文を書いてもらうことを目指す(論文作成支援など)
  - ・若手会員の勧誘
  - ・学会、大学、企業の連携という流れを構築

#### その他の事項：

- 1) 和文誌の図のファイルについて：  
和文誌原稿のファイル形式について、投稿規定ではppt, ai等となっていることをミニレビューの著者に伝達できていないことがあるとの指摘があり、オーガナイザーから伝えてもらうことが提案された。併せて、紙媒体はモノクロの図になるがオンライン版ではカラーになることも伝えてもらうこととした。

#### その他報告：

次号和文誌の記事の準備状況について報告があった。

#### 令和5年度学会賞受賞者選考委員会 第2回委員会議事録

日 時：令和4年10月1日(土) 13:00～15:00

場 所：オンライン会議

出席者：15名

#### 議 事：

1. 選考委員の2/3以上が出席していることを確認した。
2. 内規を確認した。
3. 業績賞(研究)および業績賞(技術)の各候補について厳正に選考を行い、学会賞受賞者選考委員による投票を実施した結果、業績賞(研究)1件および業績賞(技術)1件の授賞候補を決定した。
4. 論文賞については、編集委員会より推薦された論文を授賞候補と決定した。
5. 上記授賞候補に対して、評議員による授賞可否の投票手続きに入ることを確認した。

学術・技術支援委員会 活動報告

2022年度 残留農薬分析セミナー

2022年10月19日(水) 10時～17時に、2022年度残留農薬分析セミナーをビデオ会議システム Webex Meeting を使用したオンライン Web 形式で開催した。参加者は22名であった。5題の講義と総合討論・質疑応答があり、質疑応答では、8件の質疑に対し、活発な意見交換が行われた。

会 員 動 静

(令和4年7月1日～令和4年8月20日)

入 会

正会員

木下 雄樹 吉田 嵩文 井上 真紀 古川 裕紀  
深津 浩介 近藤 まり 渡邊 敦 高塩 恵子

海外会員

Wenping Xu

(受付順)

退 会

正会員

三浦 一郎 手島 輝郎

学生会員

小寺 俊丞

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2022年

11月

22日(火) 第22回農薬バイオサイエンス研究会

主催：日本農薬学会、農薬バイオサイエンス研究会

開催：対面+オンライン（オンデマンド視聴）でのハイブリッド

会場（対面）：京都大学 北部構内 農学部総合館1階W106 講義室 [〒606-8502 京都市左京区北白川追分町]

URL：http://pssj2.jp/committee/bioscience/22.html



24日(木)～25日(金) 第45回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会、農薬残留分析研究会

会場：かがわ国際会議場 [〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー 6F (タワー棟)] (ハイブリッド開催)

URL：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu45.html



12月

15日(木) 第29回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主催：日本農薬学会、農薬レギュラトリーサイエンス研究会

開催：オンライン

URL：詳細決定次第、学会HP、お知らせメールにて、ご案内します。

2023年

3月

8日(水)～10日(金) 日本農薬学会第48回大会

主催：日本農薬学会

会場：東京農業大学世田谷キャンパス [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]

URL：http://pssj2.jp/congresses/48/taikai48.html



(詳細未定) 第23回農薬バイオサイエンス研究会 (第48回大会と共催でシンポジウムを開催)

主催：日本農薬学会、農薬バイオサイエンス研究会

会場：東京農業大学世田谷キャンパス [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]

14日(水)～17日(金) IUPAC 15th ICCPC

主催：IUPAC

会場：NASC Complex, New Delhi

URL：https://www.iupac2023.in/



学会主催会議などの詳細

第29回農薬レギュラトリーサイエンス研究会 開催案内

日時：令和4年12月15日(木) 13:00～17:00 (予定)

形式：オンライン (Webex利用)

平成30年に農薬取締法の大きな改正が行われ、新たな農薬使用者に対する影響評価が導入されることとなりました(当該規定は令和2年4月から施行)。この新たな農薬使用者への影響評価については、過去の当研究会シンポジウムでも取り上げてきていますが、その評価の実際や想定されるインパクトについてさらに理解を深める必要があると思われまふ。本年から新制度に基づく実際の評価が始まったことからあらためて本制度について考えるシンポジウムを開催します。

テーマ：新たに導入された「農薬使用者への影響評価」について考える

講演：

1. 基調講演合理的なレギュレーションのための規制影響評価 (RIA) の活用

岸本充生 (大阪大学データビリティフロンティア機構 (IDS))

2. 作業者安全性評価の実際と想定影響  
元場一彦 (日本農薬株式会社)
3. 農薬の使用者暴露評価における圃場試験とその課題  
萩山和裕 (一般社団法人日本植物防疫協会)
4. Higher tier operator exposure risk assessment in the EU (仮)  
Mark Best (CropLife International)

参加申込：詳細決まり次第、学会HPにてご案内いたします。

事務局：ご不明な点がありましたら下記の当研究会事務局まで電子メールにてご連絡ください。

日本農薬学会農薬レギュラトリーサイエンス研究会  
第29回シンポジウム開催事務局

Email: PSSJ-RS-Sympo@iet.or.jp

## 「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ね、現在最新版が改訂4版となっております。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

### 購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

### 日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: [http://pssj2.jp/overview/book\\_zanryu.html](http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html)

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました。学会ホームページ上（[http://pssj2.jp/overview/book\\_zanryu.html](http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html)）で公開していますので、ご参照ください。



## 「農薬について知ろう」ウェブサイトのご案内

日本農薬学会は学会ウェブサイト内に「農薬について知ろう」というサイトを開設しています。このサイトでは、農薬に関する理解を助けるため行政や公的機関などの情報を中心に紹介しています。

食品の安全に対する関心が高い中、家庭や学校など日常生活の中で農薬が話題となる機会も多いですが、関連する情報は散在しており、知りたい情報にたどり着くのに苦労することも少なくありません。そこで農薬のことを十分に理解するための多方面の情報を一元的かつ簡単に検索でき、食の安全や健康影響、環境影響などを考える際に利用できるポータルサイトとして運営しています。

このサイトでは、情報を必要としている方々に応じて小学生、一般の方、先生、農業・流通業関係者の4つのグループに分けて情報が整理されています。また、小学生向けには漢字にルビを振るとともに、分かりやすい情報サイトを選び紹介しています。さらに、情報は「規制」、「安全性」、「薬剤」、「環境・残留」、「農業」のカテゴリー別に分類されています。「規制」は農薬の登録や管理に係る法律、試験方法、農薬残留基準、食品の輸出入など、「安全性」は毒性、安全性、健康影響、リスク評価やリスク管理の考え方、「薬剤」は農薬の種類や特徴、農薬の使用法、「環境・残留」は農薬の残留、環境中の分解、環境生物への影響など、「農業」は効果、薬害、防除、農法などについて整理されています。また、キーワードからカテゴリーごと、あるいは、50音別・アルファベット順別に縦横に検索できる機能も備えています。農薬に直接関わらない子供たちや一般の方々に向けてだけでなく、農薬や農業の専門家の方々にも十分役立つような情報を収録する工夫がされています。

今後も新しい規制や技術、知見など収録情報の追加や更新を継続していきます。皆様にご活用いただけますようお願いいたします。

日本農薬学会のトップページや下記のアドレスからご覧ください。

<http://pssj2.jp/rikai/index.shtml>



## 講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、食料生産、作物保護、食品安全、環境影響、薬剤抵抗性、農薬製剤・施用法、農薬をめぐる諸問題等、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ ([http://pssj2.jp/overview/semina/haken\\_16.html](http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html)) をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。



## 日本農薬学会第48回大会のご案内

日本農薬学会第48回大会を、2023年（令和5年）3月8日（水）から10日（金）までの3日間にわたって開催いたします。総会・受賞講演・一般講演・シンポジウムなど、3年ぶりの対面開催となりますので、本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、例年通り、本学会会員扱いとなりますので、お近くの学会員の方にも参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。

大会関係の記事は、PSSJ News Letterにおいてもご案内しますが、詳細は大会ホームページ（11月末開設予定）あるいは会員メールで随時お知らせいたしますので、最新の情報はそちらでご確認頂きますようお願い致します。なお、講演要旨集は電子媒体PDFとして配信し、印刷物の配布を行いません。

### I. 開催場所

東京農業大学世田谷キャンパス（〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1）

小田急線：

経堂駅下車 徒歩約15分、または 千歳船橋駅下車 徒歩約15分

東急田園都市線：

用賀駅下車 徒歩約20分、または 東急バス 祖師谷大蔵駅行（用01）もしくは 渋谷駅行（渋22）約10分

JR山手線：

渋谷駅下車（西口）小田急・東急バス 成城学園前駅西口行（渋24）もしくは 調布駅南口行（渋26）約30分

- ・総会、授賞式、受賞講演、特別講演：百周年記念講堂
- ・一般講演、シンポジウム、展示：1号館
- ・懇親会・祝賀会：残念ながら今回も開催中止といたします。

### II. 会期および日程：令和5年3月8日（水）～10日（金）

月・日	午前	昼	午後	会場
3月8日（水）	総会・授賞式		受賞講演、特別講演	百周年記念講堂
3月9日（木）	一般講演	ランチョンセミナー	一般講演、シンポジウム	1号館
3月10日（金）				

### III. 特別講演およびシンポジウム（調整中）

### IV. ランチョンセミナーおよび展示

3月9日、10日の一般講演の昼休み時間帯に、ランチョンセミナーを1号館にて開催します。

また、会期中、1号館内で展示会を行います。

## V. 一般講演申込

一般講演の申込みは、本学会会員（および冒頭で記載した4学会の会員）で、令和5年度分会費納入者に限ります。受付はすべて大会Webページ上で行います。講演要旨フォーマット（A4, 1ページ）を大会ホームページよりダウンロードし、要旨を作成してください（カラーも可）。詳細は大会ホームページ（11月末開設予定）でご確認ください。

申込開始日：2022年12月1日(木)

申込締切日：2023年1月13日(金)

1月13日までは、タイトルや要旨などの変更が可能です。

一般講演申込は、1月13日までに参加登録・参加費振込を行うことにより完了します。振込を確認できない場合は、一般講演登録は取り消しとなります。

## VI. 参加登録

2022年12月1日より、大会ホームページで参加登録を受け付けます。参加登録、参加費の振込は大会当日まで受け付けますが、2023年2月1日を過ぎると参加費の割引が受けられず、事前の参加証送付もされません。また、2月1日までに登録・振込を完了した参加者には、世田谷キャンパス内Wi-FiネットワークへのアクセスID, パスワードを個別に付与します（予定）。

		参加登録費	備考
大会参加費 (講演要旨集代を含む)	正会員	8,000円	2月1日(水)以降は10,000円
	学生会員	3,000円	2月1日(水)以降は4,000円
	非会員	13,000円	2月1日(水)以降は15,000円

- ・植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、本学会会員と同じ参加費です。
- ・大会当日、大会受付では参加費振込等ができません。
- ・一旦納入された参加登録費は返金いたしません。

## VII. 一般講演について

講演は会場での対面形式、時間は1題15分（講演12分、討論3分）の予定です。

スライドはPowerPointで作成し、発表開始前に大会組織委員会で準備したノートパソコンにコピーしていただきます。詳細は、大会ホームページにてご案内致します。

## VIII. 世田谷キャンパスへの入構について

東京農業大学世田谷キャンパスでは、現在、コロナ感染症対策の一環として、学外の方の入構が制限されております。世田谷キャンパスへの入構の際は、参加証を正門および経堂門で学会スタッフにお見せ下さい（他の入口にはスタッフがおりませんので、この2カ所からの入構をお願い致します）。参加証がお手元ない方は、参加登録完了を示すもの（振込完了通知メールや領収書など）を印刷もしくはスマートフォン画面などに表示して、スタッフにお見せ下さい。なお、大会会場受付での参加申込・参加費振込はできませんので、予め参加登録を済ませるか、会場近くのコンビニエンスストアなどでお振込後、会場にお越し下さい（状況により対応が変更になる場合もございますので、必ず、大会HPで最新の情報をご確認ください）。

## IX. 広告、展示、ランチョンセミナー募集のご案内

引き続き、講演要旨集への広告の掲載、展示会への出展、およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。本大会の成功のために、何卒ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。詳細および協賛趣意書が学会ホームページ（<http://pssj2.jp/congresses/48/taikai48.html>）にごございますので、そちらもご参照下さい。

日本農薬学会第48回大会組織委員会委員会

東京農業大学農芸化学科 須恵雅之

E-mail: [sue@nodai.ac.jp](mailto:sue@nodai.ac.jp)

TEL: 03-5477-2323



## 農薬科学研究奨励金制度のご案内

日本農薬学会では、作物保護に必須の資材である農薬の研究を支えることで社会に貢献することを目的とし、その基盤となる化学と生物の領域も含め、広く農薬科学研究全般に対して農薬科学研究奨励金（1件上限50万円、総額100万円を予定）の交付を行っています。現在、令和5年度分の申請を受け付けていますので学会ホームページ（<http://pssj2.jp/inside/grant22.html>）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。なお、応募締め切りは令和4年11月30日（当日消印有効）です。

過去の採択課題：[http://pssj2.jp/inside/past\\_grant.html](http://pssj2.jp/inside/past_grant.html)

## 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

2023年度会費を、2022年12月6日(火)に引き落としいたします。前日までに指定口座へのご入金をよろしくお願いいたします。

※2023年度分の自動引き落としの申込は締め切りました。2024年度分より自動引き落としを希望される方は学会事務局までご連絡ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会内

E-mail: [nouyaku@pssj2.jp](mailto:nouyaku@pssj2.jp)

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

FAX: 03 (5980) 0282

E-mail: [nouyaku@pssj2.jp](mailto:nouyaku@pssj2.jp)